

学校評価シート（自己評価）

こゆるぎ幼稚園

1・教育理念、教育方針

○教育理念

元気で 心優しく しっかり考えられる子を育てる

○教育方針

健康でたくましい身体の子どもを育てる

・元氣よく遊べる子 ・物事に興味関心を持つ子

優しい心を持った子どもを育てる

・友だちと協力できる子 ・仲良く遊ぶことができる子

自立できる子どもを育てる

・はっきり話をする子 ・人の話をよく聞く子 ・物事をしっかり見つめる子

2・具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価することにより、教師自らが第三者の立場で自園を見る目を養い、教育内容・教育環境等の改善に取り組んでいくことを目標とする。

また、教育理念・教育方針を理解したうえで、園内研修等を通して「子ども理解」を深め、教育活動の充実を図ると共に教育環境等の見直し・改善に努める。

3・評価項目の取り組み及び達成状況

評価項目	結果(※)			結果の理由
	A	B	C	
園の教育理念・教育方針（教育課程）を理解し、それを基に子どもの姿をふまえて教育計画をたてている。	B			月案、週案の作成は教育課程に基づき行うと共に、その時期の子どもの姿に合わせたねらいを設定しながら計画できた。個別に対応が必要な事案や預かり保育において、教育課程の理解を深めていく必要がある。
子どもが主体的に遊びを楽しむと共に遊びの中に学びのある教育活動を展開する。	A			子どもたちの興味や気づきを丁寧に捉え、子どもたちが主体となって遊びを進めていけるよう活動を展開した。今後も教師主導にならないよう、子どもたちの声をしっかりと聞いていきたい。
園内の施設環境、子どもに対する教育環境等の見直し・改善に努める。	B			園内の施設環境改善については、全員が意識して取り組むことができていなかったため、次年度以降の課題とする。教育環境についてはあそびが深まるよう見直しを行いながら改善できた。

子どもについてクラス・園全体で話し合い、情報共有・共通理解を図る。	B	学年間で積極的に話し合う機会を設け、情報の共有を図ることができた。情報を共有した上での共通理解の部分をより深めていく必要があるため、今後の課題としたい。
園だより・ボードフォリオ・こゆるぎ日記等で、園の教育について適切に情報を提供する。	A	ボードフォリオの電子化に取り組み一定の成果が出た。また見ていただく保護者の方に活動の内容や遊びの継続性が理解していただけるように、園だより・ボードフォリオを作成した。
研修等に積極的に参加し、自己研鑽に努め、子ども理解を深める。	B	個々に外部研修に積極的に参加し、それを園内で情報共有することで、日々の活動にいかすことができた。個別性が高くなっている子どもへの対応については、更に研修を積んでいく必要がある
保護者のニーズの把握につとめ、要望や意見に適切な対応を図る。	B	必要な範囲で個々にお話をさせていただく時間を取るなど、要望や意見を伺いつつ、園として対応できるもの、できないものを丁寧に検討した。

4・具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	昨年度に比べ外部研修や園内研修を通した学びの時間が増え、それを教職員間で共有することで、個々への対応や教育内容の質の向上に繋がった部分があったと考える。社会環境の変化や個々の対応が必要な場面等が多くなったことへの対応は、今後も継続して学びを深めていく必要がある。またそれに伴った活動内容等について改めて考え直し、計画していくことが望まれる。

結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分ではない

5・今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教職員間の共通理解	園全体・学年間、個々の教職員間での情報共有を基にした共通理解（ねらい・目標・目的・手法等）を高めることで、教育活動の豊かな発展、個別に対応の必要がある園児への適切な対応等の質の向上を目指す。
研修への積極的な参加	上記をより良いものとしていくためにも、様々な分野の研修に積極的に参加し、実践で役立てられるよう取り組む。